



学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和5年12月4日(月) No. 10

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

URL : [https:// tokushi.miyakyo-u.ac.jp](https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp)

働きがいも経済成長も SDGsの目標8

高等部では、自己理解を深め、自分の適性や今後の進路を考えることをねらいとし、11月6日から2週間、後期就業体験実習が行われました。また、中学部では、職業に対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることをねらいとし、11月20日、21日の2日間、3年生が福祉サービス事業所で職場体験に取り組み、11月21日には1、2年生がその様子を見学しました。どの生徒も働く様子を見たり、実際に働いたりしたことで、「働くこと」や「働くために必要なこと」について深く考えることができました。仕事をやり遂げた達成感や自信が生徒の表情にも表れていました。SDGsの目標8では、具体目標として、「生産的な活動、生きがいのある人間らしい職の創出」を掲げています。児童生徒が将来、働きがいを感じながら、生産的な活動を担う社会の一員になることを目指して、今後も指導支援に努めます。

青葉山実習 ～大学講堂の清掃～



B型サービス事業所でのグループ実習
～青果物の仕分け、袋詰め～

高等部



企業実習 (左)食品製造工場でのライン作業
(右)ビルメンテナンス会社での清掃作業

中学部3年生 職場体験 IN ローズガーデン



枯れ葉の除去作業

出荷作業

箱折り作業

学んだ種は、学校社会ですくすく成長中！

青葉山の壮大な秋を感じる落葉も、駐車場や通路、玄関に散らばったり、側溝にたまったりするとなかなか厄介です。教職員も日々片付けていますが、中学部、高等部の生徒も就業体験の学びを生かして、落ち葉はきを頑張ってくれました。落葉の多さに自分たちで気付いたり、教員に声を掛けられ、気持ちよく取り組んだりする様子に、就業体験で学んだ「はたらく」「やさしさ」の種がふだんの学校生活で成長していると感じます。



(文責 菅原 しのぶ)